

名称：大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携バスの使用率(2016)

指標番号：

QIP：2109

年度：2016, 2018

更新日：2018-09-21

指標群：整形外科

名称：大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携バスの使用率(2016)

意義：急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

必要データセット：DPC様式1 EFファイル

定義の要約：

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

分子：分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

3：

このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4：

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

「地域連携診療計画加算」が算定されている症例

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
190192870	地域連携診療計画加算（退院支援加算）				○	
113023370	地域連携診療計画加算（診療情報提供料1）				○	○
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

分子としている地域連携診療計画加算の算定要件の制限上、特に2番の条件により、100%になるものではない

2:

[算定要件]

- ① あらかじめ疾患ごとに地域連携診療計画が作成され、一連の治療を担う連携保険医療機関等と共有されている。
- ② 地域連携診療計画の対象疾患の患者に対し、当該計画に沿って治療を行うことについて患者の同意を得た上で、入院後7日以内に個別の患者ごとの診療計画を作成し、文書で家族等に説明を行い交付する。
- ③ 患者に対して連携保険医療機関等において引き続き治療が行われる場合には、当該連携保険医療機関に対して、当該患者に係る診療情報や退院後の診療計画等を文書により提供する。また、当該患者が、転院前の保険医療機関において地域連携診療計画加算を算定した場合には、退院時に、当該転院前の保険医療機関に対して当該患者に係る診療情報等を文書により提供する。

3:

2016年より

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-05-24